

つやの調整

固着材の量によって決まるつや

「色材の解剖学」では、油絵具やガッシュ・不透明水彩 など、絵具自体が持つつやについて述べてきました。今回はさまざまな絵具を用いて作品を制作する上で、つやをどうコントロールするか、つやの調整方法についてお話します。

図1Aは油絵具、図2Aはガッシュで描いた画面の断面を示したものです。油絵具のように固着材が多いと顔料がよくくるまれて表面は平滑になりますが(図1A)、固着材の少ないガッシュの場合は顔料がむき出しの状態になります(図2A)。平滑な画面は光を反射して表面が光るためつやが出、凹凸の画面だと光が乱反射してつやが引きます。つやのある画面をつくりたいれば固着材の多い絵具を、マットつや消し(な画面をつくりたい場合は固着材の少ない絵具を使えばよいわけです。

制作中のつやのコントロール

油絵具やガッシュなどを用いて作品を制作する過程で、つやを自分の思い通りにコントロールしたいと思ったらどうしたらよいのでしょうか。画用液、メディウムには、制作中に絵具と混ぜて使う2つのタイプのものがあります。

ひとつは絵具に固着成分をプラスして、より平滑で透明な面をつくり、つやのある画面に仕上げるもの。このタイプのを絵具に混ぜて

図2A ガッシュで描いた画面
顔料がむき出しで表面は凹凸。

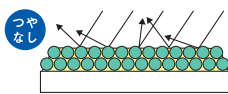


図2B つや出しワニス塗布
ワニスの層で表面が平滑になりつやが出る。

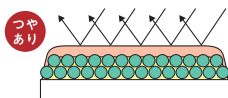


図1A 油絵具で描いた画面
顔料が固着材にくるまれて表面は平滑。

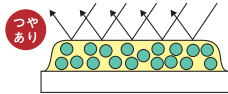
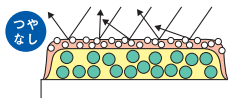


図1B つや消しワニス塗布
つや消し成分が表面に凹凸をつくりつやが消える。



使っていると、仕上がりは図2Bのようになり、つやのある画面をつくることができます。もうひとつはつや消し成分で表面に凹凸をつくり、マットな画面に仕上げるものです。つや消し成分とは、つや消しタイプの画用液やメディウムに含まれている透明な粒子のことです。図1Bは油絵具で描いた画面の上につや消しワニスを塗ったものですが、つや消しタイプの画用液、メディウムを混ぜて描いた場合もこれと同じような表面になり、光を乱反射してマットな仕上がりとなります。表はつやをコントロールするために、制作時に絵具と混ぜて使う画用液、メディウムをまとめたものです。

画面保護とつやのある無し

仕上がった作品の画面保護用ワニスにも、つや出しタイプとつや消しタイプがあります。つや出しワニスには「グロス パーニッシュ」「つや消しワニス」には「プランマットリキード」「スプレー マットタブロー」などがあります。また、油絵具で仕上げた画面をさらにつやのあるものにした場合は、「タブロー」「スプレー タブロー」「ラピッド タブロー」などのつや出しワニスをかけるとよいでしょう。以上、あげた製品の成分や使い方については、「ホルベイン画用液マニユアル」「ホルベイン水彩用メディウム」「アクリル絵具総合カタログ」に明記されています。使用する際にご参照ください。

	つや出し用	つや消し用
油絵具	バンドル	スペシャル マット ペンチング オイル
	オドレス バンドル	
	ベネシャン ターペンタイン	
	スタンドリンシード オイル	
アクリル絵具	グロス メディウム	マット メディウム
	ジェル メディウム	
水彩絵具	アラビアゴム メディウム	—
	ウォーターカラー メディウム	



スペシャル マット ペンチング オイル
(油絵具用 つや消し調合溶き油)

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.072 (985) 1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具